



# おうぎだい

◇令和5年度 二十歳のつどい

令和6年1月7日(日)



金沢国際ホテル (出席者61名)

1月1日発生した能登半島地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

そして、このような状況の中、去る1月7日、栄ある「二十歳のつどい」を無事開催することができましたことに、参列者、ご家族はじめ関係各位共々深く感謝したいと思います。

チェロ奏者細川文さんによるバッハ独奏曲の演奏の後、出席者全員による黙とうが捧げられ、その後の国歌斉唱に続いて、代表の宮川桃佳さんが、若者らしく伸びやかに「市民憲章」を唱和しました。宮川雄汰さんによる「誓いの言葉」の朗読では、被災地に対する配慮をにじませながら、WBC日本代表の大活躍を引き合いに、絆の大切さを訴え、聞く人に大きな感動を与えました。続いての武田銀聖さんによる「交通安全宣言及び明るい選挙の決議」は、大人の第一歩を踏み出すにふさわしい、自覚と責任感に溢れた頼もしい内容

でした。厳粛な中にも和やかな雰囲気です。終了した式典の後は、一転、リラックスした会場で「思い出動画」の鑑賞や、当時の恩師によるスピーチなどで大いに盛り上がり、懐かしい友人との再会、尽きぬ談笑に花が咲く中、名残惜しそうに会場をあとにする姿が、とても印象的でした。

今は、被災地の復興復旧を祈る事しかできませんが、人間の「立ち上がる力」を信じて、平穏な日常が一日も早く戻ることを願うばかりです。【頑張ろう、石川】。

予期せぬ災害や事故から始まった2024年ではありますが今年一年が皆様にとって幸多き年になりますよう、そしてその中で、扇台公民館、児童館が全ての地域の皆様にとって「暖かい場所」になりますよう、職員一同努めて参りますので、皆様方の変わらぬ叱咤激励を、本年もよろしくお願い致します。

扇台公民館館長 藤井 宏